

消化器肝臓内科に通院歴のあるまたは通院中の患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学総合医療センターの研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 上部下部消化管内視鏡検査および関連治療の成績に対する前方視的・後方視的研究

《研究機関名》 関西医科大学総合医療センター

《研究責任者》 島谷 昌明、消化器肝臓内科、病院教授

《研究の目的》 上部内視鏡内視鏡(胃カメラ)と下部内視鏡(大腸カメラ)を用いた検査や治療の症例を集めて検討を行い、検査治療方法の改善、学会報告や論文発表などを行います。

《研究の方法》

●対象となる患者さん

平成28(2016)年1月1日から令和7(2025)年12月31日の間に上部下部消化管腫瘍または疑い(早期がん、胃ポリープ、大腸ポリープなど)での内視鏡検査や治療(ESD, EMRなどの内視鏡によるポリープ切除術や早期がん切除術)を受けた方、消化管出血(吐血、下血、血便など)で内視鏡検査や治療を受けた方が対象となります。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査結果、画像検査結果、病理検査結果、内視鏡検査治療の完遂割合(目的とした腫瘍やポリープを切除できた割合)、偶発症発生割合(内視鏡検査や治療における偶発症の起こった割合)を調査します)

これらのカルテ情報を持ちいて胃や大腸などのポリープ、腫瘍の内視鏡治療や内視鏡止血術における治療成功率、偶発症や再発率の検討を行います。

・《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の

患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《個人情報について》

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

〒570-8507 守口市文園町10番15号

関西医科大学総合医療センター消化器肝臓内科 担当医師 病院教授 島谷 昌明

電話 06-6992-1001(代)